様式第３（第 21 条関係）

容　器　承　認　申　請　書

番　　号

年　月　日

原子力規制委員会　殿

住　所

氏　名（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 59 条第３項及び核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する規則第 21 条第１項の規定により、下記のとおり申請します。

記

１　輸送容器の名称

２　輸送容器の外形寸法及び重量（注１）

３　核燃料輸送物の種類（注２）

４　収納する核燃料物質等の種類、性状、重量及び放射能の量（注３）

５　承認を受けようとする容器の製造番号その他の当該容器と他の容器を区別するための番号

６　承認容器として使用することを予定している期間

注１　寸法についてはセンチメートル又はメートル単位、重量についてはトン又はキログラム単位で記載し、併せて輸送容器の概略を示す鮮明で複写可能な図面を添付すること。

２　Ａ型輸送物、ＢＭ型輸送物、ＢＵ型輸送物等の核燃料輸送物の種類並びに核分裂性輸送物及び六ふつ化ウラン輸送物にあつてはその旨を記載すること。

３　次のイからホにより記載すること。

イ　種類については金属ウラン、二酸化ウラン、六ふつ化ウラン、二酸化プルトニウム、新燃料集合体（二酸化ウラン燃料）、新燃料集合体（ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料）、使用済燃料、試験片等の別を記載し、ウランにあつては濃縮度を、プルトニウムにあつては核分裂性プルトニウム同位体濃度を、ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料にあつては核分裂性プルトニウム富化度を、使用済燃料でその被覆材からの放射性物質の漏えいが認められるものの収納が見込まれる場合にあつてはその旨を併記すること。

ロ　濃縮度及び核分裂性プルトニウム富化度については、使用済燃料及び照射済試料にあつては初期値を記載すること。

ハ　性状については物理的・化学的形態を記載すること。

ニ　重量についてはトン又はキログラム単位で記載すること。

ホ　放射能の量については総量及び主要な核種ごとの量をベクレル単位で記載すること。

備考　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。